一赤上神社

男鹿の内にあり（知られず 或あるいは彩神詳なるべし）

人漢武帝を祭るといへども信をとるべ

吹浦村の古記に大山祇神社の十番屬あり

赤上神社も之内なり本山社位百石彩山社

位三十石彩山に神とあり本稿に小鹿嶽

大社といへり尚社の事とぞ十二卷文治

六年正月六日辛酉条下曰（四月十一日為建久元年）奥州

故泰衡良（郎）従大河次郎兼任以下去年嶺

冬以来企叛逆或號伊豫守義經出於出

羽国海邊庄或称左馬頭義仲男朝日冠

者起于同国山北郡谷（ヲ）結逆黨遂兼任

相具嫡子鶴太郎次男於幾内次郎并七

千餘騎之徒向鎌倉方令首途其路歴河

北秋田城等越大関山擬出于多賀国府

而於秋田大方市（ヒ）郡志賀渡之間氷俄消

而五千餘人忽以溺死訖蒙天譴歟爰兼

任送使者於由利中八維平之許云古今

聞報六親若夫婦怨歟之者尋常事也未

有討主人之歟之例兼任獨為始其例所